

<第46回 利益相反管理委員会(2025年4月18日 書面開催)>

報告・審議テーマ	2025年度 三井住友トラストグループ経営計画更新(FD・コンプライアンス計画)
主な審議内容	✓ DX推進が、お客さま本位の業務運営の高度化に繋がる一方で、お客さまとのコミュニケーション減少に繋がる懸念もあり。両立について配慮が必要
対応状況	意見を踏まえ、生成 AI を活用するなどして、お客さまの声の見える化に取り組み、お客さま本位の業務運営のさらなる高度化を進めていく

<第47回 利益相反管理委員会(2025年6月9日開催)>

報告・審議テーマ	TB 個人事業のお客さま本位の取組状況
主な審議内容	✓ プライベートアセットの民主化推進において、流動性に乏しいプロダクトの提供において、どのようにガバナンスを効かせていくのか、FD の観点から確りと議論すべき ✓ 100 年パスポートやおひとりさま信託など、信託らしい商品の訴求が足りていない。専業信託銀行らしい社会貢献として一層のアピールが必要 ✓ 非対面での対応、オンライン化を進めるべきではあるが、特に高齢者はオンラインの操作が苦手な方が多いため、オンラインの利便性・安全性の確保などに留意が必要
対応状況	意見を踏まえ、関係各部と連携を図りつつ対応していく

報告・審議テーマ	FD 取組方針の改定、行動計画の策定、FD 取組状況・KPI の状況等について
主な審議内容	✓ プライベートアセットの議論について、流動性の面で個人への展開に懸念はないか、当初は対象顧客層を限定するなど確り議論すべき ✓ 商品ライフサイクル管理は、プロダクトガバナンスにも関連するテーマ。リスク委員会、利益相反管理委員会を合同開催し議論する機会があるべき ✓ 当局の動向を見るに、最善利益勘案義務を踏まえた金融機関側の受け止めや対応を問うような動きが見て取れる。当社においても留意してこれらへの対応を進められたい
対応状況	意見を踏まえ、引き続きプロダクトガバナンス、FD・利益相反管理にかかる対応に取り組む

報告・審議テーマ	対顧サービス品質管理高度化に向けた取組状況
主な審議内容	✓ ユニバーサルデザイン(UD)など新しいコンセプトは、現場に確りと理解されるよう、FD との関係性なども含めて丁寧な説明が重要 ✓ 顧客本位の業務運営に関して、当局では消費者からの苦情に注目している模様。この点に留意し、苦情管理や対顧サービス品質の向上に継続して取り組まれたい
対応状況	意見を踏まえ、UD の推進および現場への浸透を図りつつ、対顧サービス品

	質の向上に取り組んでいく
--	--------------

報告・審議テーマ	2024 年度下期利益相反管理・顧客サポート等管理の状況について(書面)
主な審議内容	✓ インサイダー取引事案について、経営理念「信託の受託者精神に立脚した自己規律」とコンプライアンス遵守の大切さについて社内で再度徹底し、引き続き実効性のある再発防止策の取り組まれない ✓ 苦情については、昨今金融庁も重視しており、丁寧な分析が必要。信託グループとしての顧客の最善の利益の追求の観点から、苦情から浮かび上がる課題がないかについて引き続き検討されたい
対応状況	意見を踏まえ、改めてコンプライアンス遵守を徹底するとともに、お客さまの声を基とした課題の特定・改善に取り組む

報告・審議テーマ	2025事務年度 利益相反管理委員会の活動方針について
主な審議内容	✓ 本議案の内容について、気づき、意見等あれば、利益相反管理委員会事務局あてにお寄せいただくこととし、特段の意見等なく承認された

以上